

発行所 特定医療法人五省会西能病院 千930 富山市五福1130 TEL (0764) 41-2481(代) 発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

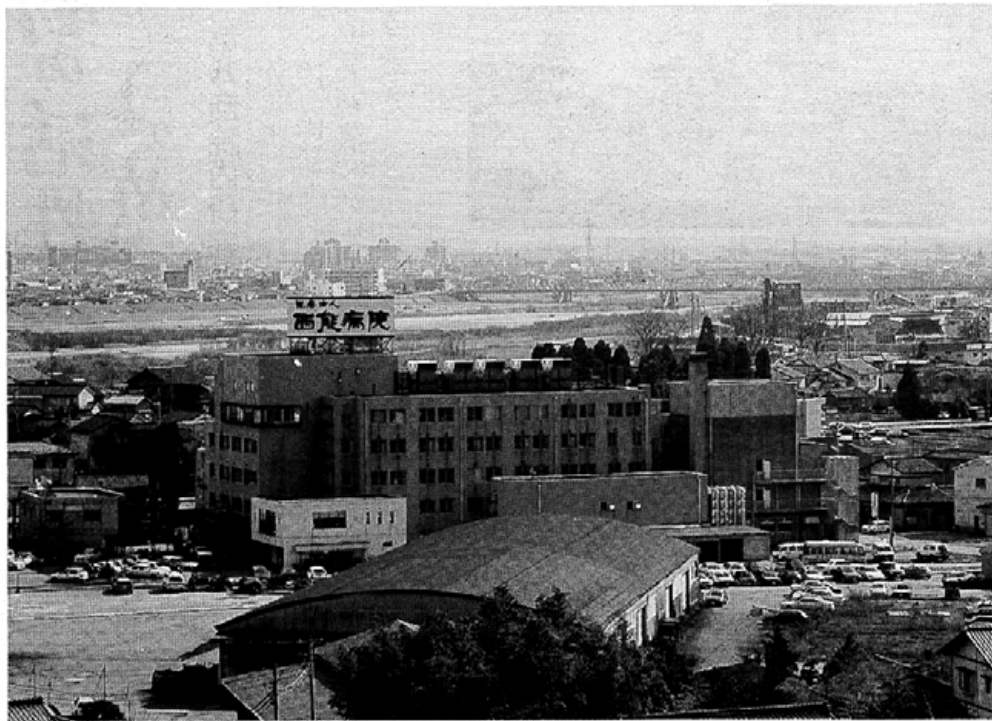
五省 一、至誠は悔るなかりしか 一、言行は恥るなかりしか 一、気力に乏るなかりしか 一、努力に怠るなかりしか 一、不精は怠るなかりしか

より高度な医療サービスを

三月二十日 宇奈月で 開院三十五周年記念式典

特定医療法人財団五省会(理事長、西能正一郎)西能病院(院長西能正)は、開院三十五周年の「ねんりん」を刻んだ。この記念式典を三月二十日午前10時から宇奈月国際会館で挙げる。永年勤続者十七人を表彰、県文化行政推進顧問、吉崎四郎氏が「ヤングとオールドのはざま」と題して記念講演。このあと、宇奈月国際ホテルで祝宴を開いた。

この記念式典を三月二十日午前10時から宇奈月国際会館で挙げる。永年勤続者十七人を表彰、県文化行政推進顧問、吉崎四郎氏が「ヤングとオールドのはざま」と題して記念講演。このあと、宇奈月国際ホテルで祝宴を開いた。



地域と共に刻んだ「ねんりん」

満三十五年の節目を迎えて

西能 正一郎

平成九年三月二十一日は、私の病院が西能整形外科医院として発足してから満三十五年という節目を迎えることになりました。日頃、西能病院の歩みとして書き留めておいた主要事項(本紙四面に掲載)を眺めて見ますと、この病院の開設責任者として取り組んで来た、その時々と事柄が思い出され、(よくもまあ)と思うと同時に、たゞた一事項を書き足すために、ご協力、ご理解頂いて西能病院をご利用のお客様の皆様、それにもまして、ご協力頂いた職員の皆様に、深く御礼を申し上げるものでございます。

率直にご評価、ご叱正を

お客様のご理解が病院の将来の基盤

以前に、このニュースにも述べましたように、「ただほど高くない」と言うのが、この件に関する私の持論であります。従いまして当然の事ながら、医療サービスを受ける方々にも、なにがしかの自己負担をお願いせねばならないようになると思っておりますが、その様な情勢の変化があつてこそ、初めて医療が利用していただく皆様方から、正しい評価を受ける時代が来るものと理解しております。

私は、すでに十年近く前から、この時が来ることを予測して、病院の職員諸君に、患者さんが財布を持つて来てもらえる病院を構築しようとしてキャンペーンをして来ましたが、それを受けて現実には、この病院がどの様な評価を受ける病院に変わっているか、これはご利用していただく皆様の評価によるしかありませんので知る由もありませんが、何卒、率直にご評価、ご叱正賜わりますようお願い申し上げます。それが、私共の病院の四十年、五十年を約束する基盤であると思っております。

あすなろ

大衆小説の登壇 門・直木賞(昭和十年に設定)は、大阪生まれの作家・直木三十五の功績を記念して菊池寛が作ったものだ。直木三十五という筆名の由来は、本名の植村宗一の「植」を分解して「直木」、当時三十一歳だったので直木三十一としたのが始まりだった。以後、三十二、三十三と改めていったが、三十五が気に入ったのか、三十四を飛ばし、三十五を定着させた。本人の好みとあってしまえばそれまでだが、確かに三十五には勢いがあるし、三十五は日本の基本リズムで響きもよい。論語に「三十二シテ(而テ)立ツ、四十二シテ惑ワズ」とあり、これから三十歳を而立(じりつ)、四十歳を不惑(ふわく)と呼ぶようになった。ようやく大人としての自覚が生まれるのが三十歳、四十歳になると貫録もついて落ちつきをみせる。となると三十代なかばが働き盛り、三十五歳は若すぎず、老いすぎず、いわば油の乗り切った年代。だから企業や団体は創立三十五周年記念を盛大にやる。西能病院もこの三月に創立三十五周年を迎えた。これを機に、モットーである「患者さんに愛される病院」の徹底を再確認する必要があり、それとともに「悪ワナイ四十歳」に向かって再出発の改革の熱意を結集する。そのため対外的な研究発表をドシドシやり、「天下のサイノウ」の名をあげてもらいたい。

平成9年3月

特定医療法人 財団五省会

人に優しい環境と確かな医療を心がけています

- 理事長 西能正一郎
常務理事 中永久光
理事 西能 竝
理事 住 博司
理事 中尾 哲雄
理事 米田 寿吉
監事 石川 実
監事 寛田 英二
評議員 稲垣 忠一
評議員 大上紀美雄
評議員 尾山征一郎
評議員 神沢 幹夫
評議員 河上弥一郎
評議員 西能 綾子
評議員 西能 孜
評議員 坂本 重一
評議員 笹山真治郎
評議員 土田 亮一
評議員 古沢 富美
西能病院職員一同



# 西能病院 35年のあゆみ

| 年                               | 施設認定  | 院内事項   | 福利厚生   | 対外活動   |
|---------------------------------|---|--|--|--|
| 昭和37<br>38<br>39<br>40<br>41    | [西能整形外科医院] (19床)<br>[西能整形外科病院] (47床)<br>基準(看護、給食、寝具)救急病院認定<br>新黒二発電所 ~40<br>[第一期増改築] (77床) (医院廃止)   |  | 職員旅行<br><br>退職年金制度   | [救急車]  |
| 42<br>43<br>44<br>45<br>46      | [第二期増改築] (116床) リハビリテーション<br>西能病院整形外科地鉄ビル診療所 ~45<br>〈保険医総辞退〉  | 夜間診療 (16:00~19:00)   | 互助会<br>奨学金制度 (Dr. N s. PT. etc)<br>企業内保育所 ~52. 3<br>職員及び親族治療費減免制度                                | [患者通院バス]   |
| 47<br>48<br>49<br>50<br>51      | 基準看護特類<br>整形外科機能訓練施設 (県第一号)<br>身体障害者福祉法・更生医療機関  | 外来部門改装 (オープンカウンター<br>喫茶コーナー)<br>病歴室 (開設以来のカルテ整理)   | 病院マーク (職員バッジ)<br><br>職員寮   | 奥様病院見学 (年1回) 牛岳スキー場救急隊<br>各種地域の講演に講師派遣 逐年増加<br>社会福祉協議会西能基金第1回100万円~第10回  |
| 52<br>53<br>54<br>55<br>56      | 有峰発電所診療所 ~55<br>形成外科クリニック<br><br>内科外来<br>[医療法人財団五省会] に組織変更<br><br>[特定医療法人]  | 医師服務内規<br>[西能病院経営戦略]<br>医療相談室 (MSW)<br>配膳時間の改善 (朝食7:00 夕食18:00)<br>フロアーコンダクター<br><br>複数献立          | 育児休業制度 運動会 職員寮<br>定年後再雇用制度<br><br>職員駐車場<br><br>勤務延長制度  | [社会福祉法人・かたかご保育園]<br>接遇委員会<br><br>産業医活動・西整会<br><br>五省会ニュース  |
| 57<br>58<br>59<br>60<br>61      | [第三期増改築] (185床)<br>内科病棟<br>日本整形外科学会認定医制度研修施設<br><br>泌尿器クリニック、神経内科クリニック<br>基準看護特2類<br>日本整形外科学会リウマチ医認定  | 第1回QCサークル発表会<br>接遇改善委員会<br>中国医科大学留学生受入   | 4週5休<br>誕生会 (会食)   | 富山スケートセンター救急医療機関<br>ロゴタイプ シンボルカラー<br>各種行事に救護班派遣<br><br>健康教室 (月1回) ニコニコバッジ  |
| 62<br>63<br>平成1                 | 日本体育協会公認スポーツドクター認定<br>スポーツクリニック<br><br>院長交替   | [病室急慢分離]<br>医事部門コンピューター (2回目)<br>[企画管理室]<br>第1回看護研究発表会<br>月見会 クリスマスパティー 花見の会<br>[休日診療]             | [4週6休]<br>定年延長 (60才)<br>厚生年金基金   | [地域医療チーム] 在宅療養活動 (Dr. Ns. PT)<br><br>健康フェア出展<br>映写会 (月1回)<br>町内納涼大会<br>[入浴専用車]<br>テレフォンカード・Tシャツ作成  |
| 2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8 | 五省会画像センター<br>「MRI、CTスキャナー」<br>院外処方箋発行<br>梨雲苑開設<br><br>特別管理給食加算承認<br>健康事業部 (人間ドック)<br>心療内科新設<br>循環器・糖尿病外来新設<br>夜間看護加算承認<br>糖尿病スクール スタート<br>ワーククリニック開設<br>薬剤管理指導科承認<br>骨密度測定装置導入<br>院内感染予防対策届出<br>麻酔科外来開設 | 病院建物全面補修<br><br>看護部管理職育成研修<br><br>体力測定室新設<br>防火区画整備 2階、3階個室増設<br><br>輸血療法委員会 看護の日のイベント<br>患者満足推進会議 | 企業委託保育事業こすもす園開設<br>[完全週休2日制]<br><br>休日手当の新設<br>職能資格制度導入<br>再雇用優遇制度導入<br><br>育児休業制度改定<br>介護休業制度導入 | 五福校下「医療に関する意識アンケート」実施<br>通院バス婦中、呉羽コース運行<br>[ヘルスケアショップ「シーブ」] 開店<br><br>病院コンサート (5階ホールにて)<br><br>阪神淡路大震災 神戸市へ緊急薬品搬送<br>「骨の日」記念地域交流会<br>障害者雇用労働大臣表彰 第4回看護の翼派遣<br>富山県スポーツ振興財団強化選手血液検査<br>「医療に関する意識アンケート」実施<br>五福4区健康教室 インテック健康教室 |

## 病院だより

一月

二月

三月

今年(平成9年)は再出発の第一年。理事長、院長が年頭所感として、四日(五階ホール)の新年互礼会(午後五時)で、西能理事長は「職員一同が今の熱意をもって改革に取り組む、今年(平成9年)は再出発の第一年である」、西能院長も「世の中の最近の流れに合わせて、斬新な切り替えが必要である」と年頭所感。患者サービスの徹底を呼びかけた。十三日(成人式)を迎えた次の職員四人が五階ホールで、西能院長から記念品を受けた。

石田千尋、北村優子、正路真規子、山田真希、二十七日(五階ホール)で健康教室。松野医師が「慢性関節リウマチの最近の知見」を。二十九日(西能理事長が富山観光ホテルへ主催、呉羽懇話会)で「高齢者福祉の現状と展望」を講演。

二十九日(タワー1)でインテック健康教室。糸山医師が「血液のがんについて」講演。

十一日(互助会が牛岳温泉スキー場でレクリエーション。職員や家族ら四十五人が参加した。

十二日(タワー1)でインテック健康教室。西能理事長が「腰の痛みについて」講演。

十八日(五階ホール)で健康教室。西能院長が「膝の痛みについて」講演。

二日(西能理事長が富山市体育文化センター研修室で「人間の発育発達と少年期の特性」を講演。主催は富山市スポーツ少年団。

十二日(タワー1)でインテック健康教室。西能理事長が「膝の痛みについて」講演。

十八日(五階ホール)で健康教室。糸山医師が「血液のがんについて」講演。

## 永年勤続表彰者

- ▽三十五年(一人) 西能綾子
- ▽三十年(一人) 三原美樹雄
- ▽二十五年(二人) 宮尾英新、岩城真由美
- ▽二十年(一人) 川西信子
- ▽十年(八人) 刑部和子、吉田美和子、野原かつみ、小松恵子、河辺信子、松田昌子、山田真佐子、平井幸二
- ▽五年(四人) 宮田由志美、五十嵐均、山下真由美、新庄則子